

令和5年度 事業報告書

事業番号	事業の内容
公1	教育や文化の振興に関する事業

[1] 事業の概要

令和5年度も、本会の目的である「新しい時代にふさわしい教育の目的・理念の高揚に努め、香川県教育の充実とその振興を図る事業を推進し、もって県民の教育・文化・福祉の向上に努め、平和で民主的な国家・社会の形成に寄与する」ことを具体化した。具体的な事業として、教育文化講演会の開催、会報の発行やホームページ等による広報・啓発活動を実施するなどして、教育関係者はもとより広く県民の教育に関する意識の高揚を図った。

1 教育文化講演会の開催

会員はもとより県民一般にも興味・関心もてる内容や、教育改革等の方向性を鑑みるような内容の講演会を企画するとともに、講演会開催について広く県民に周知し、多数の聴講者を集めることができた。また、講演内容については、会報に掲載し広報した。講師の、指導者としての信念や矜持に感銘を受けたという感想が多数寄せられた。

月	日	会場	講師	演題
6	1 (木)	香川県教育会館 ミュージズホール	香川県立高松商業高等学校 硬式野球部監督 長尾 健司先生	自走する集団づくりをめざして

2 広報・啓発活動

多くの教育課題が山積する教育界において、学校や教員を支える提言、先進的な実践の紹介、また、全国的な動向や本会の事業等を、会員のみならず広く県内に知らせることで、県民の教育に対する意識の高揚に努めた。

(1) 会報の発行・配布

会報を発行して、会員の教育に対する意識を高めるとともに、教育に対する県民の意識向上を目指して、広く県民にも配布した。主な記事としては、地元に着目して活動している郡市等教育会からの「提言」、先進的な実践をしている学校、幼稚園・こども園を取り上げた「学園だより」が挙げられる。

号	発行日	主な記事
131号	7月11日	総会報告、講演要旨、本年度の主な事業と組織(役員・郡市等教育会事務局)
132号	12月6日	日連教山口大会関係(大会報告、香川県提案発表要旨、分科会報告等)
133号	3月5日	事業報告、学園だより、教育実践研究論文、学校貢献・地域貢献顕彰事業

(2) ホームページでの広報活動

総会・理事会での決定事項や本会の事業概要を、会報よりひと足早く周知するとともに、公益事業として実施する内容やその要項等を会員や県民等に公開した。更新は、新着情報があり次第、順次更新を行った。

事業番号	事業の内容
公2	教育や文化の振興に寄与する活動等への支援・助成事業

[1] 事業の概要

本会の目的とする「県民の教育・文化・福祉の向上に努め、平和で民主的な国家・社会の形成に寄与する」を達成するためには、香川県教育の充実とその振興は欠くべからざる要件である。そこで、未来の社会人となる児童生徒を育てる教員の資質向上への支援と児童生徒の学術芸術活動への支援事業を実施した。

1 教育研究団体助成事業

教員の研究活動全体を活性化するために、次の教育研究団体を支援するために助成金を交付した。香川県幼児教育研究会、香川県小学校教育研究会内(国語、書写、社会科、算数、理科、生活・総合的な学習、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳、外国語、養護、特別活動、特別支援教育、へき地教育、学校図書館、メディア教育、学校保健、学校事務、人権・同和教育、生徒指導、学校給食)の23部会、香川県中学校教育研究会内(国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語、養護、道徳教育、特別活動、生徒指導、メディア教育、人権・同和教育、学校図書館、教育相談、特別支援教育、へき地教育、学校事務、学校給食)の21部会

2 文化活動の支援事業

児童生徒の学術芸術活動を推進する目的で結成された「香川県小・中学校文化連盟」は、毎年「香川県小・中学校総合文化祭」を実施している。児童生徒や保護者が鑑賞しやすい土・日曜日に県内の教員が主体的に開催する各発表会は、出品する児童生徒への励みになるとともに、県民の学校教育への関心・理解を深める場となっている。この総合文化祭の一層の充実を支援するため、令和5年度も本会から助成した。

3 教員の資質向上事業

児童生徒に対する教育の成否は、児童生徒の教育に直接携わる教職員の熱意と資質向上にかかっていると云っても過言ではない。そこで本会としては、教員の資質向上のために次の事業の推進に努めた。

(1) 日本連合教育会全国大会への参加

山口県で開催された日本連合教育会の全国大会において、さぬき市教育会（さぬき市立津田小学校）が第3分科会「道徳教育」で提案発表を行い、本県の先進的教育実践の成果を全国に発信した。また、27名という多くの者が大会に参加し、全国レベルの優れた教育実践に学ぶ機会を得ることができた。提案内容は、会報を通して広く県内に周知した。

(2) 教育実践支援事業

自主的に教育研究に取り組む教員が増えることを期待して、自ら教育技術を研さんしたり、教育研究グループを自主的に組織して、積極的に研究実践をするなどしている教員に対して助成金を交付している。本年度は、7個人、3団体に助成した。さらに、その優れた研究成果は、会報やホームページを通して広く公開した。

事業番号	事業の内容
公3	教育や文化の振興に功績のある個人・団体の顕彰事業

[1] 事業の概要

児童生徒を取り巻く教育環境は、社会の発展とともに様々な課題が顕在化し、学校の努力だけでは解決が困難な状況にある。こうした状況の下、各学校においては、地域の有志や篤志家などからご支援をいただいているのが現状である。これら有志の活動は本会の目的とも合致することなので、本会として、こうした支援の活動が広がることを期待して顕彰している。

1 学校貢献・地域貢献顕彰事業

学校貢献とは、学校教育に直接的・間接的にかかわって、教育活動を側面的に支援している活動であり、地域貢献とは、地域において子育て支援や文化的活動を進めている活動である。本年度は、本会の目的に合致する活動をしている県内の11の個人・団体を、郡市等教育会の推薦を経て表彰した。

事業番号	事業の内容
収1	教育活動の円滑な推進に関する調査・出版事業

[1] 事業の概要

小・中学校においては、児童生徒の学習の定着を図るために副教材を使用しているが、市場に出回っている物の使用には、様々な弊害がある。その克服のために、香川県では教員が授業の進度や学習実態に応じた適切な副教材づくりを担ってきた。このことにより、県下の教育水準の平準化が維持され、学校が使用する副教材の数も減り、保護者負担の軽減にもなっている。そこで、本会は副教材の一層の適正化を図るために、副教材の作成過程における監修を担うこととした。なお、監修によって得た収益は教員研修活動の活性化に役立てることとし、公益事業2「教育研究団体助成事業」に振り当てている。

1 監修委員研修会

適切な監修等を実施するために、講師を招いて、研究団体の役割について監修事業研修会を実施した。

事業番号	事業の内容
他1	会員等の顕彰事業

[1] 事業の概要

1 20年以上会員として本会の活動に寄与し退職する会員に、感謝状と記念品を授与している。

2 本会の運営に貢献した役員に感謝状と記念品を授与している。

対象となる役員は、2年以上にわたる理事・監事・事務局長を務めた者である。

1 本年度は、225名の会員と7名の役員に感謝状と記念品を授与した。